

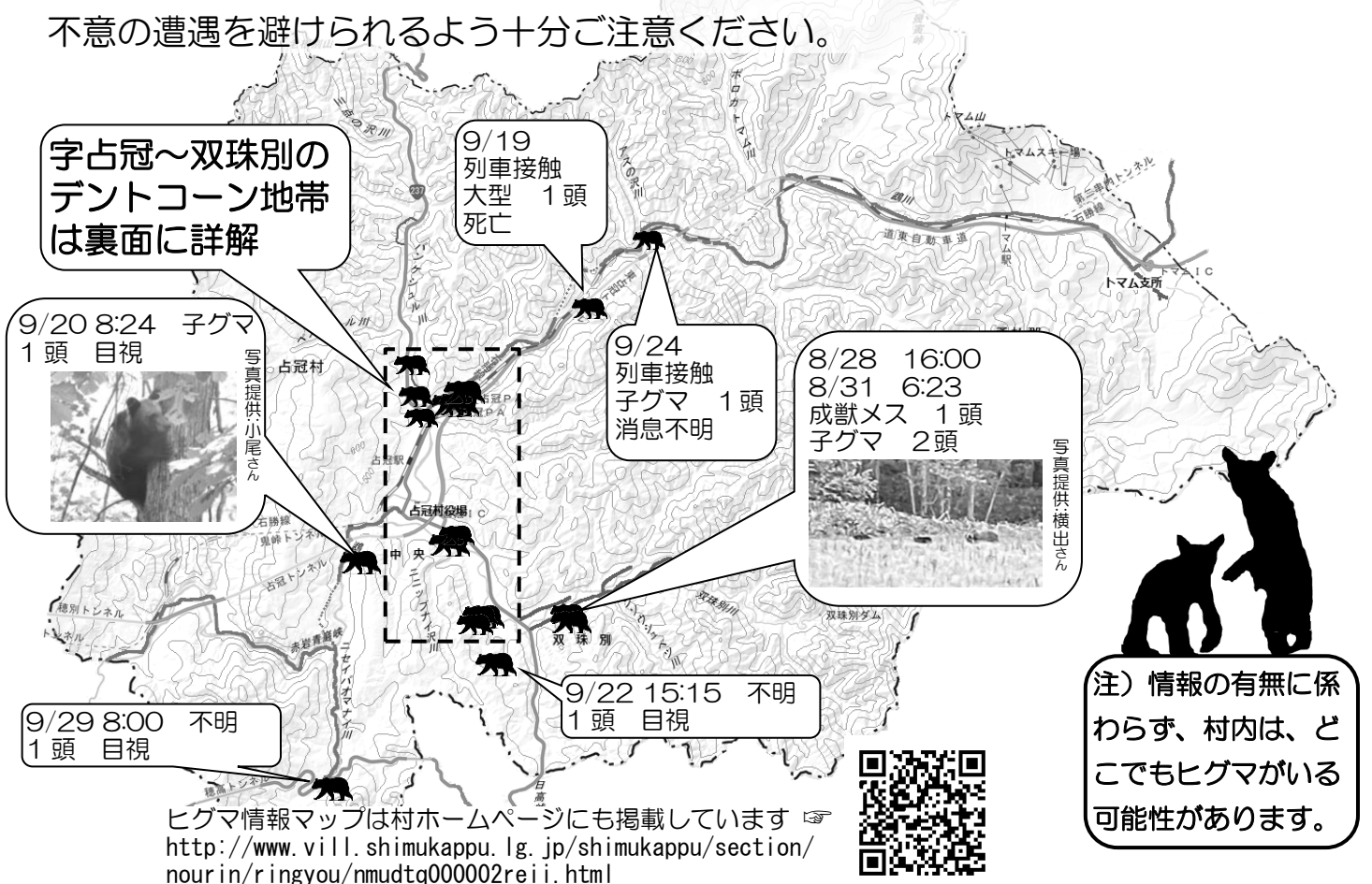
ヒグマについてのお知らせ

令和7年10月 広報おりこみ

中央、占冠、双珠別のデントコーン圃場では、9月半ばの収穫期まで侵入による食害が続き、収穫直前には新たに被害が確認された圃場もありました。収穫後も、落ち穂を求めてヒグマの侵入が続いています。一方、その他の地域は、9月は比較的静穏に経過しました。詳細は裏面もご覧ください。

10月は、ヒグマが冬眠前に多くの餌を必要とする食欲亢進期に入り、一般に行動範囲が広くなるといわれる時期です。そのため、人と遭遇する機会も増える恐れがあります。今年はミズナラのドングリが不作で、秋に人里への出現が増加するおそれが増していますが、9月29日現在、その兆候は確認できていません。

日没が早まり薄暗い時間帯が長くなっています。外出の際は見通しの確保に努め、不意の遭遇を避けられるよう十分ご注意ください。



注) 情報の有無に係わらず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります。

次のような状況はすぐに対策が必要です。

- ★ 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
- ★ 道路上や道路脇、農地に居座っている。
- ★ 人に気付いても逃げない。
- ★ 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
- ★ 持ち物を奪われた。
- ★ 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
- ★ 人や家畜、ペットが襲われた。
- ★ ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。
状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対応をします。

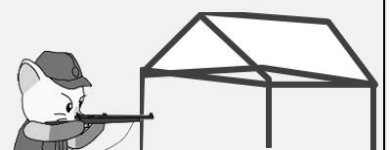
占冠村役場 農林課
林業振興室 野生鳥獣担当
☎0167-56-2174
占冠 駐在所
☎0167-56-2110

次のような状況では、静観できると考えられます。

- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
- 山林内でヒグマの痕跡を見た。
- 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。

10月5日
紅葉まつり
ひぐまテント
今年も出展します!!



- ・こども安全射的教室
- ・パネル展示・塗り絵
- ・野生鳥獣専門員常駐



よろしくお願い致します。占冠村役場 農林課 林業振興室 電話0167-56-2174



2025 年 9 月 20 日中央

どうする？はらぺこひぐま

今期はミズナラ（どんぐり）が大凶作のようで、ヒグマたちには残念な秋です。クルミをよく食べているようですが、どんぐりの代わりになるのでしょうか。ミズナラは山の尾根や斜面に多くあり、クルミは山裾や川沿いに多くあるようですので、今秋は例年より、人家のそばでヒグマの活動が増えるかもしれません。

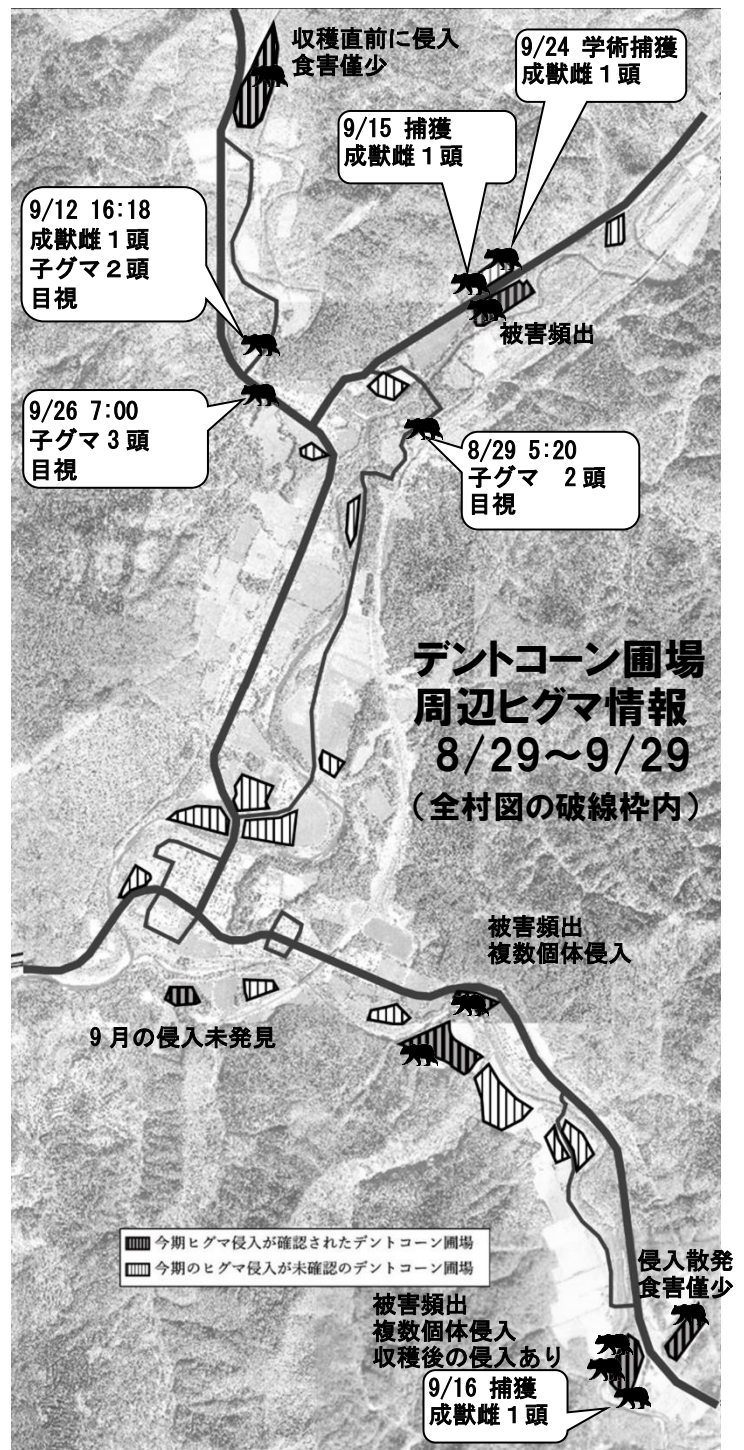
こうしたことへの対策として、特にヒグマを寄せたくないクルミの木を選んで伐ることも検討していますが、もう落果しているので効果は来年以降です。クルミからさらに人家へ寄せぬため、食品ゴミの管理も重要です。コンポストは暴かれる恐れがあり、特に山林に隣接した場所での運用は危険です。



2017 年 10 月 14 日双珠別
2018 年 8 月 21 日双珠別

野生動物保全技術実習

酪農学園大学の学生実習です。9 月の 16 日から 19 日まで、双珠別の双民館を拠点に村内各地で実施しました。



ヒグマの電波標識調査 今期初の装着に成功

酪農学園大学野生鳥獣管理学的研究室によるヒグマ研究の一環。9 月 24 日にメスの成獣を捕獲し翌 25 日に一連の作業を実施しました。



放逐後、捕獲地点から東の山中へ移動していきました。



みなさんお疲れさまでした

